

## 凸版印刷、企業向け NFT 認証ソリューションの提供を開始

第1弾として、NFT購入者限定のコミュニティ参加権を安全・安心に認証・付与するサービスを開発、web3 時代における企業などの NFT 活用を支援

凸版印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:磨 秀晴、以下 凸版印刷)は、企業などのマーケティングにおける NFT 活用を支援する「エンタープライズ向け NFT 認証ソリューション」の提供を開始します。第1弾として、2023年2月より協業を開始した Scalably 株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:山本 純矢)協力のもと、企業などが発行する特定の NFT を保有した人にコミュニティ参加権を付与することができる「はやくてかわいい NFT 認証ツール」**「HAYACAWA™わん」**を開発。2023年4月10日より提供を開始します。

「HAYACAWA™わん」は、特定の NFT 保有ユーザーのみが参加できる Discord チャンネルを作成し、対象の NFT 保有者への認証完了後にコミュニティへの参加権を付与できるツールです。本ツールの活用により、NFT を起点としたブランドやアーティストなどのファンが集まるコミュニティを安全に形成することができます。コミュニティ参加権という特典の付与により、企業はファンとの直接的なコミュニケーションや参加者限定キャンペーンの実施などが可能となり、ファンにとっての NFT 保有価値向上を支援します。凸版印刷は、NFT 導入から販売・配布支援、マーケティング施策の実施など NFT 事業のトータルサポートを行っており、NFT のマーケティング活用に不可欠な認証基盤として本ツールの活用を推進していきます。

なお、「HAYACAWA™わん」は提供開始に先立ち、メタバース空間上に開設した「バーチャルトーハク(※1)」で開催された東京国立博物館創立150年記念バーチャル展示「エウレカトーハク! ●89」(※2)で、NFT アート作品の購入者特典の付与を行う認証システムとして採用されました。

## エンタープライズ向け NFT認証シリーズ

「HAYACAWAわん」	第2弾 / 第3弾 / and more		
コミュニティ参加権	Webサイト閲覧権	NFTのチケット認証	その他 ユーティリティ
			

エンタープライズ向け NFT 認証シリーズの概要と「HAYACAWA™わん」画面イメージ © TOPPAN INC.

### ■ 開発の背景

企業が web3 参入を進めるにあたり、「NFT(非代替性トークン)」の活用が広がっています。その中で近年は、NFT の売買だけでなく、購入者限定コミュニティへの参加やイベントなどの特典を付与し、NFT の購入促進やブランドやアーティストなどの熱心なファンに向けたコミュニケーションを可能にするマーケティン

グ活用も注目を集めています。

しかし、NFTをマーケティングとして企業が活用するための認証システムは未だ運用面、ユーザビリティなどの課題が多く、特にセキュリティ管理の厳しい日本企業にとっては導入が難しいという課題がありました。

この度、凸版印刷はこれまで培ってきたマーケティングノウハウや企業向け NFT 事業参入支援などの実績を活かし、企業などのマーケティングにおける NFT 活用を支援する「エンタープライズ向け NFT 認証ソリューション」の開発・提供を開始。第1弾として、NFT 認証によりコミュニティ参加権を付与する〈はやくてかわいい NFT 認証ツール〉「HAYACAWA™わん」の提供を開始します。これにより、芸能事務所／アニメ制作会社／クリエイティブ会社／メーカーなどが安心・安全に NFT を活用したコミュニティ形成とマーケティング活用が可能になります。

## ■ NFT 認証ツール「HAYACAWA™わん」の特長

### ・個人情報の管理負荷を軽減しコミュニティの構築が可能

従来のコミュニティ構築ではメールアドレス等個人情報を取得、保管し、ユーザー認証する必要がありましたが、本ツールでは、購入した NFT の情報が格納されているウォレットに一時的に接続するだけでユーザー認証が可能です。よって、個人情報の管理負荷やセキュリティリスクを抑えつつ、安全・安心に利用することができます。

### ・利用ユーザーが親しみやすく分かりやすい UI で企業の導入を促進

web3 関連のプロダクトは、専門的で難しい画面 UI が多い傾向にありますが、本ツールは親しみやすいビジュアルと誰でも操作が分かりやすい UI 設計により、企業の導入を促進します。

### ・限定コミュニティ構築により NFT の価値向上を支援

特定の NFT 保有者に限定したコミュニティを構築できるため、活発な活動が見込まれる熱心なファンコミュニティの形成が可能です。企業は限定コミュニティを活用したキャンペーンやイベントなどもでき、ユーザーへ単に NFT を保有するだけでない付加価値を提供できます。また、構築したコミュニティの人气が高まることにより、参加権が得られる NFT 自体の価値向上を支援します。

### ・NFT の専門知識やノウハウを有したトータルサポート体制

凸版印刷の web3 専門組織「web3 Marketing Unit™」が、NFT 企画、ユーティリティ計画、コンテンツ制作、NFT 発行、NFT 販売支援、NFT 無料配布、NFT 認証ツールの提供までトータルでサポートすることが可能です。これまで凸版印刷が企業のマーケティング支援や NFT 事業参入支援などで培ってきたノウハウを活用し、ユーザーに高品質な web3 体験を提供します。

## ■ 価格

・NFT の発行・販売・配布を凸版印刷が受託した場合は付帯サービスとして利用料無料で提供します。

※初期設定費は別途御見積となります。

※本ツール単体で利用希望の場合は、NFT 認証数などにより価格変動があるため、別途御見積となります。

## ■ 今後の目標

凸版印刷は、コミュニティ参加権を付与する NFT 認証ツール「HAYACAWA™わん」の提供を皮切りに、web サイト閲覧権／イベント・店頭における NFT のチケット認証など、様々な NFT 活用のニーズに合わせて「エンタープライズ向け NFT 認証ソリューション」のラインナップを拡充、2023 年度中に第2弾、第3弾の提供を予定しています。また、NFT／メタバース／クリエイターエコノミー／web3 マーケティング支援など web3 関連事業で 2025 年度までに約 10 億円の売上を目指します。

今後も、関連するサービスの開発・提供により web3 の社会実装を推進し、誰もが安全・安心に web3 を活用できる世界の実現を目指します。

※1 バーチャル東京国立博物館(バーチャルトーハク)

東京国立博物館の一部をVRで再現したバーチャルミュージアム(2020年開設)。これまで実現できなかったキュレーションや展示演出、さらに国内外からの時空にとらわれないアクセスを可能にし、ニューノーマル時代の新しいオンライン文化鑑賞体験を提供します。

※2 バーチャル展示「エウレカトーハク! ●89」

バーチャル展示「エウレカトーハク! ●89」は、東京国立博物館所蔵の国宝の魅力を通じて、日本美術の鑑賞ポイントを海外の鑑賞者などにわかり易く伝えるため、3部構成で国宝のさまざまな解釈を提示し、多様な手法で国宝の魅力や特長を紹介するものです。展示会場には、メタバースプラットフォーム「cluster」を活用し、東京国立博物館の監修のもと、凸版印刷が企画制作しました。

主催：東京国立博物館、文化財活用センター、凸版印刷株式会社、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

会場：バーチャルトーハク 展示室 (cluster内)

期間：2023年1月17日(火)～2023年3月31日(金) ※本展示は終了しました。

\* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

\* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以上